

自然感

# くすのき

yumi



季節感

花の盛り、昼間は大型のチョウが、日が暮れるとスズメガ科の大型の蛾が良く訪れている。独特の臭いがあるが、若葉は山菜として食べられ、果実は草木染めとして利用される。果期の今、萼片は平開して美しい紅色になる…

『クサギの実と萼片』

平成27年11月1日

福岡市西区草場山裾

大塚俊樹

## ◆お知らせ◆

第27回**和白干潟まつり**11/22(日) 11時から15時15分まで  
場所：和白干潟・海の広場(福岡市東区和白4丁目) 参加無料 小雨決行

ラムサール条約登録を目指して

干潟で遊ぼう!

まつりの内容  
バードウォッチング・干潟の生物観察・自然あそび・植物観察・  
コンサート・干潟の掃除などいろいろありますよ。

主催 和白干潟まつり実行委員会



## ★都市公園で自然観察会 54★

春日公園で、いろいろな視点で植物や昆虫、野鳥などをゆっくりと観察します。

★日時 11月15日(日) 集合14時～解散16時

★場所 春日公園・自然かんさつ館 [旧公園管理センター]

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

### 日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

11/15 (日) 12/20 (日) 天拝山探鳥会 (筑紫野市) 時間：9:00~12:00 集合：天拝山歴史自然公園 問合せ：090-7165-5026 (重松尚紀)	11/22 (日) 12/27 (日) 久末ダム探鳥会 (福岡町) 時間：9:00~12:00 集合：久末ダム多目的広場横 駐車場 (管理事務所下) 問合せ：0940-33-7846 (高原和幸)	12/6 (日) 今津探鳥会 (福岡市西区) 時間：9:00~12:00 集合：玄洋高校西側道路 問合せ：092-891-9005 (神園道男)
12/12 (土) 大濠公園探鳥会 (福岡市中央区) 時間：9:00~12:00 集合：ボート乗り場前 092-573-1827 (森健児)	12/13 (日) 和白海岸探鳥会 (福岡市東区) 時間：9:00~12:00 集合：JR 和白駅前の公園 問合せ：092-606-0012 (山本廣子)	12/1 (火) 県営春日公園 (春日市) 時間：10:00~12:00 集合：旧公園管理センター前 問合せ：092-592-3423 (小野仁)

### 日本野鳥の会 筑後支部 主催

※一般参加費：100円（中学生以下無料）

11/22 (日)  
膿施山公園 (みやま市)  
時間：9:00~12:00  
集合：公園内すいせん橋  
0944-58-1672 (野田達行)



### 三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

12/5 (第1土曜日)  
自然観察会 (植物・昆虫・野鳥など)  
集合：九州歴史資料館駐車場  
時間：9:30~12:30  
問合せ：092-920-3072 (松永紀代子)  
参加費：200円 (大人のみ)



ブログ  
「三国丘陵の自然を楽しむ会」で検索  
観察会や様々な生きもの情報を載せています

### 久留米の自然を守る会主催

第424回例会 12/12 (土)  
久留米の歴史と文化と自然探訪  
御井町周辺の史跡探訪を行います。  
講師は樋口一成氏 雨天中止  
集合：元御井町公民館駐車場  
時間：13:00~14:30  
参加費：無料 定員50名  
持ち物：筆記用具  
要申込：TEL 0942-51-7064  
(古賀)  
FAX 0942-51-7065  
問合せ：hashida@kurumenoshizen.net  
(橋田沙弓)



身近な植物ボランティア養成講座  
時間：9:30~12:00  
集合：元御井町公民館駐車場  
問合せ：090-1346-0460 (橋田沙弓)  
11/28、 12/19

### 和白干潟を守る会 主催

11/28 (土)  
守る会定例会議  
時間：10:30~13:00  
集合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012 (山本廣子)

11/28 (土)  
クリーン作戦と自然観察会  
時間：15:00~17:00  
集合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：090-1346-0460 (田辺スミ子)

### 福岡植物友の会 主催

11/11 (日) 終了  
大濠・舞鶴公園 (福岡市)  
11/15 (日)  
昭和の森 (宇美町)  
参加有料、予約必要  
問合せ：092-575-3131 (北野星二)

## 窓越しの自然観察 ⑦

十月に入り、モズに続いてジョウビタキも水浴びにやってくるようになりました。



サンシュユ(ミズキ科ミズキ属)の鮮やかな「朱」色の実も目を引く半ば頃より、緑色だったサネカズラ(ビナンカズラ/もくれん科サネカズラ属)の実が色付き始めます。秋深くなる程に色合いも深く、手触りもかわってきます。

一房を切り取って、視覚障害(全盲)の方の掌に乗せ、触って頂いたことがあります。プヨプヨと柔らかい感触をととても喜んで下さったのですが、写真よりも濃く深い「赤」を伝えることが出来ませんでした。

なによりも中途障害ではない方に「色」について、説明出来なかったことを、そしてその時の胃を締め上げられるような思いを、この頃になると思い出します。

(ダムサイト住人 2015/10/30 記)

## ☆報告☆ 春日公園自然かんさつ会 2015年10月18日 14:00~16:00 晴れ (第53回)

・この日は、福岡市の環境フェスティバルが天神で行われていたのと、一般からの参加者は無かったため、一人で園内を散策しました。

・秋ならではの自然の様子を探しながら散策しました。

・何かがかじったマツボックリ、落ち始めたドングリ、はじけたサザンカの実の殻、赤く熟したサンシュユの実、目立ってきたヒマラヤスギの実、甘い香りのキンモクセイの花、そして紅葉の始まった木々など、秋見つけを楽しみました。 <ながまつ>



## 穏やかな秋晴れが続いている...

10月23日、訳あって家事の合間に今年初めてムカゴ採りに行った。昔たくさん採れた日向峠の穴場は見ると影も無く完敗で一粒の収穫も無くスゴスゴと敗退に至った... が、その桜の大きな木の上の方に形の良いアケビの房がさがっているのが見えた。昔ならば採ろうと思ったら、申年生まれだからか、相当細い枝の先まで木を騙しだまし登り道具なしで危険な目にも会いながら必ず採ったものだったが、現在では高枝切りバサミがなくて如何ともしがたいと決断をしアケビは後日に廻して、別のムカゴ採りの穴場へと向かう。

翌24日、日向峠の件の桜の木に直行、木の下から高枝切りバサミを伸ばすが届かない！ 1m余り届かない。地上から2m位の高さのところまで登るしかない...。思えば十数年前この桜の木にムカゴがびっしりと実を付けていた時も同じで、枝分れしている処まで登らねばムカゴに傘が届かず、しかもその時、術後退院して間も無い時で、登るべきか？登らざるべきか？ ハムレットの様に迷ったが、結局登り収穫を得て帰った思い出の木である... 4~5回の挑戦で枝分れの処まで登り、高枝切りバサミの長さを調節して、四方に気を配り切り取ったが尋常でなく重い。握りを緩めるとアケビが落下するので枝や蔓を避け、慎重に地上に下ろし、自分も慎重に下りて大いなる達成感を味わうことができた。地上に下ろしたアケビを手にして驚いた!! 三方に張り出した三つの巨大なミツバアケビ !! 重いとは木の上にいる時から思っていたが、これ程とは... 山里で生まれ里山を駆け回って遊んだ頃から70年余(数十年のブランクは有るが)でこれ程の逸物は初めての経験である。添付写真ではその品量感は解りにくいと思いますが、総重量(3つで) 1.1kg 最大長(1個) 15cm 最大幅(1個) 8cm 最大胴回り(1個) 22cm が帰宅後計測のスペックです。



豊かな自然の恵みに幸いあれ... 感謝... 大塚俊樹

## ◆報告◆ 環境フェスティバルふくおか 2015

福岡県自然観察指導員連絡協議会(ナイス福岡)事務局・田村

「環境フェスティバルふくおか2015」が福岡市役所西側広場を中心に10/17・10/18の2日間、開催。協力いただいた会員は延べ15名、出展したお店に来ていただいた市民の数は2日間の合計で1,002名でした。

協力したナイス福岡の会員：大塚俊樹・堀謙治・山本弘子・藤川渡・中岡康二・鶴田義明・田村耕作・小野仁・永松愛子・松永紀代子

自然の草や種・実などを生きた野遊びに、たくさんの子供たちと元子ども達が興味と懐かしさを持って、立ち寄ってくれた。辛いヤナギタデ・昔の石鹼(ムクロジの実)、堀さんの「立て板に水」の解説案内の講釈は、今年も健在なり。大塚さんの作るドンダの笛、中岡君の太いメダケを少し割っただけのプウプウ笛、山本弘子さんを中心に展開したオナモミダーツやウラジロのバッタ、シュロの葉バッタも人気でした。

秋の味覚、熟したアケビやムベの実、ヤマノイモのムカゴも関心呼びました。

はじめてヤタイヤシの実が登場。軽くて固い実でした。

毎年大好評のオナモミダーツ、たくさんのお子様も心を持った大人たちで盛りあげました。オナモミのしっかりとくっつく仕掛けや大小2個の種を観察しながら、動かない植物が生きていく知恵、マジックテープの原理も解説。子どもたちのワクワクした目の輝きに「楽しさは学ぶ力！」改めて実感。また、元子ども達(年配者)の方々も「昔はこれでよく遊んだね。」と懐かしそう。お店の様子、写真で感じてくださいな。(ナイス福岡事務局)



ヤタイヤシの実



10/17のお店の様子



10/17の協力者



10/18のお店の様子



10/18の協力者



## —冷川先生との出会いに感謝—

冷川先生との出会いから早20年近くになりますが、いろいろな観察会やクラブの例会などでお話を伺うのがとても楽しみでした。

おらかな満面の笑顔、わかりやすくやさしい語り調に接するたびに、私も、先生のようなステキな自然案内人になれたらいいなあと思えることがいっぱいありました。

特に、オーロラや宝満山など山の話をする時の嬉しそうなお顔は、昨日のように甦ってきます。まさに自然大好き人間（クマさん？）そのものですね。

私とは同年輩ですが、未だまだ一緒に過ごしたかったです。

ご冥福をお祈りいたします。 鶴田義明

福岡県の自然を守る会が共催した自然観察指導員の講習会が英彦山で開催された時（1983年8月）に、私は参加しました。それが、冷川昌彦さんとの最初の出会いでした。

その後、何回目かの自然観察指導員の講習会を実施する中で、福岡県自然観察指導員連絡協議会が、福岡市の油山市民の森で、1989年1/16に立ち上がりました。その代表が冷川昌彦さんでした。その後、2014年5月まで25年間の長きに渡って代表を勤められました。

会報くすのきには、「熊洞居人独言（クマのつぶやき）」を2006年4月129号に1回目を投稿され、継続して93回目（2014年1月222号）まで、続けました。このクマのつぶやきには、宝満山に関係することが大変多く、特に2013年頃は宝満山のつぶやきが大半を占めていました。宝満山をこよなく愛されていたことが、ひしひしと伝わってきます。これからも宝満山と共に安らかに過ごしてください。ご冥福をお祈りいたします。 田村耕作

2012年春、現住団地東端道路より撮影した宝満山（撮影：冷川昌彦）。



92回目の熊洞居人独言から、再録

